

オンデマンド配信にあたり

去る11月18日、19日にかけて第28回日本口腔顔面痛学会総会・第21回アジア口腔顔面痛学会総会併催が福岡県筑紫野市で無事に開催されました。多数のみなさまのご参加およびご協力を心よりお礼申し上げます。

オンデマンド配信の準備が整いました。本大会では聞き逃したプログラム、もう一度おさらいしたいプログラムを年末年始の少しゆっくりできる時間に改めて学び直しして頂ける機会に繋がれば幸甚です。

大会のテーマをA.ヘップバーンの言葉から「impossible… i`m possible!」とさせて頂き、様々な困難が立ち塞がろうとも前を向いていこうとの思いを掲げて参りました。

本学会はOFPって楽しい、困っているひと一人を救いたい、という思いを軸足に多様な会員の多様な可能性から生まれ現在に至り、そして未来に繋がっています。

キャリアも背景も多様な本学会の軸足である「OFPの多様性・可能性」を大会を通じて理解が深まれば幸甚です。

参加者共通のもうひとつの軸足として「慢性疼痛を担う医療者」としております。

本大会は慢性疼痛としてのOFPを俯瞰してみたいという意図でのプログラムを組みました。

基礎からみた痛覚変調性疼痛のシンポジウム、引き続き細井昌子先生のご講演、安野広三先生、田代雅之先生のご講演から「難治性」慢性疼痛の本質を理解し、OFPの慢性疼痛としての普遍性・特異性について考え、そして「OFPの多様性・可能性」のシンポジウムと続きます。

また、神経障害の連携シンポジウム、ストーリー展開のリフレッシュコース、OFP開業医の会、ヨーガ療法、参加型のRed flagのシンポジウム、さらに歯科専門医機構共通研修会、各種ハンズオンセミナー、…

この多様なプログラムからご参加のみなさまに様々な可能性が芽生えて、痛み患者様の本質を理解し寄り添えるより良き医療者になることを目指していきたいと思っております。私たちOFP医に求められる方向性が見出されるのではないかと思います。

末筆になりますが、みなさまのますますのご清栄を祈念すると共に、たくさんの方々のお力を頂いて開催にたどり着けましたことを心より感謝申し上げます。

平成5年12月吉日

第28回日本口腔顔面痛学会総会 会長 坂本英治